



## 2017.11.14. 世界糖尿病デーイベント in 小豆島

### 糖尿病センター

11月14日は国際糖尿病連合(IDF)・世界保健機構(WHO)が定めた世界糖尿病デーです。青い丸をモチーフにしたブルーサークルがシンボルマークです。毎年当科ではこの世界糖尿病デーの前後で、一般の方への糖尿病知識を深めてもらうために、イベントを行っています。

2017年11月14日小豆島中央病院のふれあい広場で「糖尿病治療への知識づくり」と題してイベントを開催、出張糖尿病教室を行いました。

50人近くが参加し、医師・管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士による講義と小豆島の食材を使った管理栄養士監修のお弁当を実食していただき、糖尿病に対する理解を深めていただきました。



## 第10回 医学生と医師の卒後キャリア形成に関する情報交換会が開催されました

### ワーク・ライフ・バランス支援室

平成29年11月20日(月)午後6時より、標記情報交換会が臨床講義棟1階にて開催されました。

これは、香川県医師会、日本医師会、香川大学医師会ならびに本院の共催及び本学男女共同参画推進室の協賛により、将来の医療を担う医学生や若手医師を対象に、今後のキャリア形成に役立ててもらおうと実施している情報交換会です。医学科4年生の特別講義として、学内外から108名(うち学生50名)のご参加をいただきました。

放射線医学の室田真希子先生の司会のもと、男女共同参画推進室コーディネーターの村上弥生先生から女性の働き方や推進室の紹介、本院の耳鼻咽喉科学の星川広史教授、麻酔学の澤登慶治先生、周産期学婦人科学の新田絵美子、消化器内科の中原麻衣先生から、WLBに対する取り組みや、医師の仕事と生活、ご自身のキャリアや育児の工夫などユーモアを交えながらそれぞれお話しいただきました。平成20年より毎年実施され10回目となる今回も、大変有意義な会となりました。



## 『街角救命マシーン活用術』

香川大学医学部附属病院 集中ケア認定看護師 安西 馨 堀 仁実

総務省消防庁によると、通報後、救急車が現場に到着するまでの全国平均時間は8.6分と言われています。平成28年に全国の救急隊員が搬送した心肺機能停止傷病者数は123,554名、そのうち一般市民が心臓突然死を目撃した総数は25,569名、うち救急隊員到着までに心肺蘇生が施されていたのが14,354名(56.1%)、そのなかでも除細動(AED)が実施されていた傷病者は1,204名(8%)であったと報告されています。救急隊員が到着するまでに一般市民による心肺蘇生やAEDが実施された場合の1か月後生存率や社会復帰率は、実施されていない場合と比べて明らかに高くなるという報告もあります。つまり、救急車が到着するまでの時間にその場に居合わせた人々が救命処置(心肺蘇生とAED)を行うことは救命や社会復帰のためには非常に重要なことだと言えます。



BLS(Basic Life Support)は一般市民でも行うことができる一次救命処置の略称で、①心肺蘇生、②気道異物除去、③AEDによる除細動のことを言います。誰かが突然倒れた時、そこにいるあなたが救えるかもしれない命があります。大切な命を救うための心臓マッサージ、そしてAED、それはあなたにもできることです!私たちがBLSの研修をさせていただきました。心肺蘇生の方法を知ってもらい実践してもらい、普段触れることのないAEDに触れてもらうことで、今後いざという時に一般市民の方が躊躇なくBLSを実施してもらえればと思います。

※第17回イキイキさぬき健康塾(平成28年9月11日開催)の講演内容を要約したものです。

## 『外来診療移転のお知らせ』

### 病院再開発推進室

病院再開発整備において、改修工事に着手していた外来診療エリアの一部が完成し11月27日から新しいエリアで診療を行っています。今回、改修された診療科は、1階が脳神経外科、整形外科、形成外科・美容外科、2階が小児科、小児外科です。新しくなった診療科受付は、従来あった仕切りがなく、開放感のあるカウンターで患者さんと接しやすく設計されています。受付カウンターは、手荷物が置けるよう配慮されており、車イスの患者さんにも対応したカウンターを設けています。また、新しく完成したエリアには順次、診察順番表示システムのモニターが設置され、1月から稼働を始めています。

また、1月4日から、1階に内科、眼科、2階に皮膚科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科の受付や診察室などが従来の場所から変更となり診療を始めています。

工事期間中は、診療科の位置変更での混乱や、工事騒音等で大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。



▲脳神経外科、整形外科、形成外科・美容外科外来



▲待合スペース

四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には  
許諾されていないため、転載記事を除きました。

四国新聞 2017年(平成29年)10月13日(金曜日)掲載 (四国新聞に転載について許諾済み)

 イキイキさぬき健康塾  
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

高松市内で定期的に行っている医療セミナー「イキイキさぬき健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニティチャンネルで放送中です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加できなかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

## 平成29年度第2回緩和ケア研修会を開催

医療支援室

11月25日(土)・26日(日)に平成29年度第2回緩和ケア研修会を開催しました。研修会には、本院の医師43名、学外の医師9名、計52名が受講されました。

この研修会は、がん診療に携わる医師が基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得することを目標としています。

研修会は講義以外に、普段顔を合わすことのないメンバーでのグループワークやロールプレイングがあり、どの参加者も熱心に受講していました。また、講師の質問にベテラン医師からの貴重なコメントをいただく場面もあり、充実した研修会となりました。

参加者全員、2日間の研修会を無事修了し、厚生労働省からの修了証書を授与されることになりました。



## クリスマス音楽会

医療支援室

平成29年12月13日(水)18時30分から第27回クリスマス音楽会を開催しました。横見瀬病院長の開会の挨拶に続き、チターアンサンブル、歌唱&キーボード演奏、エレクトーンによる生演奏、看護部フレッシュナース合唱隊によるフレッシュな歌声で会場に感動を届けました。また、サンタさんとトナカイさんから嬉しいプレゼント!音楽会で届けられた演奏はあつという間のひとときでした。



## 臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長  
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに對して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

## イベントカレンダー H30.2~3月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
2/8 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:食品交換表を使ってみよう! 医師:未定	臨床栄養部	(087)891-2066
2/18 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「知っているといかないかもしれない 肺癌の「きほん」」	総務課	(087)891-2008
2/22 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:注意が必要な冬の食べもの 看護師:未定	臨床栄養部	(087)891-2066
3/8 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:一日に何をどれだけ食べたいの? 医師:未定	臨床栄養部	(087)891-2066
3/11 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「おながかいたいよ~!! お子さんがそんな時どうする?」	総務課	(087)891-2008
3/15 木	14:00~16:00	西1階カンファレンスルーム	がん患者サロン「お口の中のトラブルを予防しよう! -一般的なものから治療による副作用まで-」	がん相談支援センター	(087)891-2473
3/22 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:食べ過ぎない!飲み過ぎない! 薬剤師:糖尿病のお薬について	臨床栄養部	(087)891-2066

### 編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、日下(副病院長)、笹川(放射線)、田川(管理)、田中(看護)、藤原(病棟)、芳地(薬剤)、横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事) [委員長 横見瀬病院長]